



J A 京都中央

営農ウィークリー NEWS

“ホウレンソウケナガコナダニ” の防除を！

管内で発生が見られます！



ホウレンソウケナガコナダニ



ホウレンソウケナガコナダニによる被害

ホウレンソウケナガコナダニは、土壤中で増殖し、主に新芽部分に侵入し、ホウレンソウを加害します。体長は0.4mm程度の大きさで肉眼では確認しづらいです。

加害を受けた葉はこぶ状の突起を生じ、光沢を帯びて縮み、奇形となります。増殖源となる有機質資材（菜種油かす、未熟な牛・豚糞堆肥、米ぬか、稲わら、籾殻）を投入した場合に発生しやすくなります。

被害を発見してからでは遅いので、早めの防除に努めましょう！

農文協「農業電子図書館」より抜粋

防除効果が期待できる農薬はコレ！

ホウレンソウケナガコナダニに登録のある主な防除薬剤（令和元年12月24日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期／使用回数
スミチオン乳剤	2000倍	収穫21日前まで／2回以内
アフーム乳剤	2000倍	収穫3日前まで／2回以内
カスケード乳剤	4000倍	収穫3日前まで／3回以内
コテツフロアブル	4000～6000倍	2葉期まで但し 収穫14日まで／1回

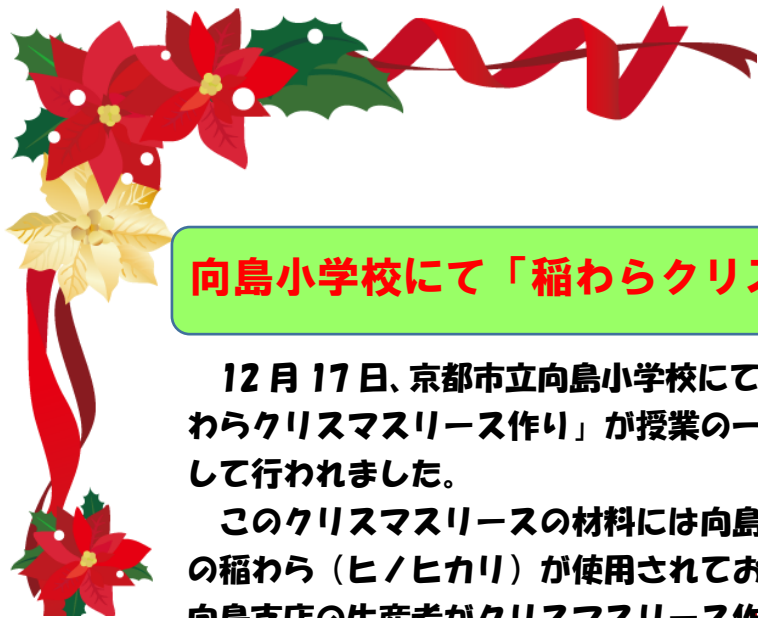
※農薬を使用する際には、表示ラベルで登録内容を再度確認してください。

—TAC information—

「雑煮大根」出荷最盛期を迎える！



今年も残すところあとわずかとなりました。乙訓支店管内では、関西地域のお正月に欠かすことのできない「雑煮大根」の出荷が最盛期を迎えています。別名「祝大根」とも呼ばれており、角が立たずその年を円満に過ごせるようにと願いを込め、輪切りにし、お正月の雑煮に利用されています。「雑煮大根」は通常の大根とは異なり、出荷規格に合うように栽培することは、長年の経験と高度な技術が必要とされます。今年も、約10万本の出荷を見込んでおり、関西地域の量販店で販売されます。



向島小学校にて「稲わらクリスマスリース作り」が行われました！

12月17日、京都市立向島小学校にて、「稲わらクリスマスリース作り」が授業の一環として行われました。

このクリスマスリースの材料には向島地域の稲わら（ヒノヒカリ）が使用されており、向島支店の生産者がクリスマスリース作りの指導を行いました。



Happy Merry Christmas !

